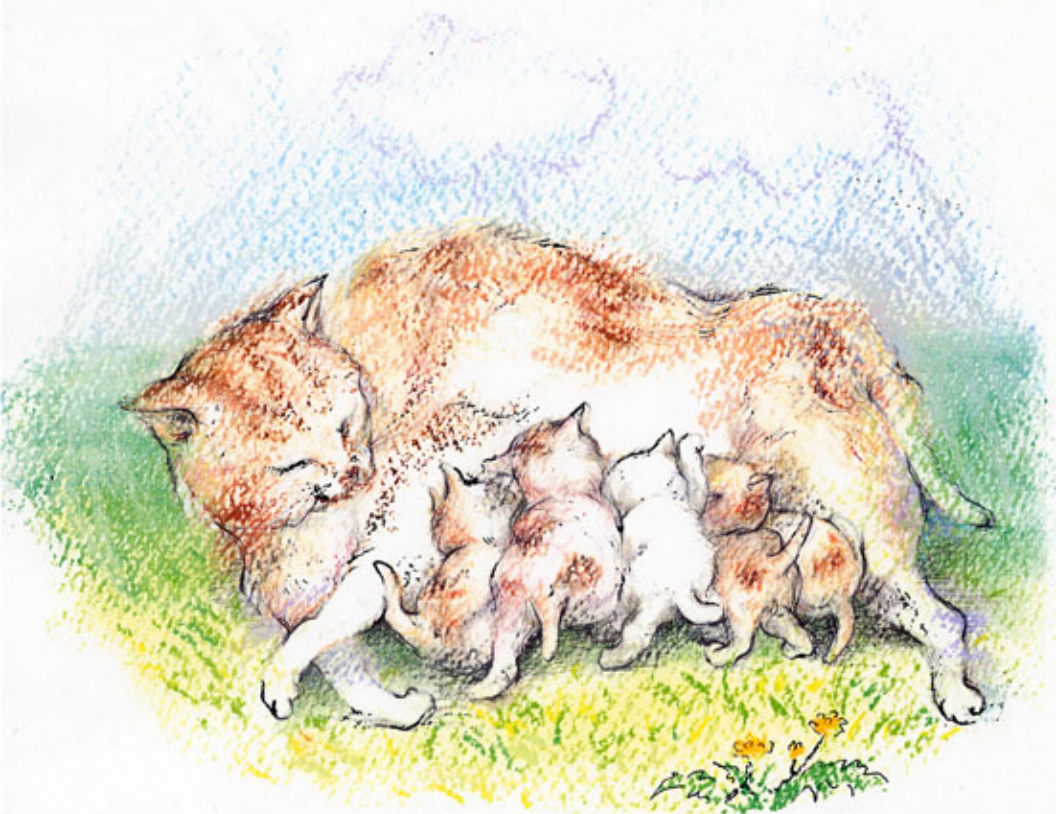


みおちゃんにゃんたろう



さく : ほんだ りょうこ

はるのひざしがおだやかなあるひ、
みおちゃんのおうちのにわに、5ひきのねこがうまれた。
ぶちが4ひき、しろが1ひき。





5ひきのねこは、げんきにたのしく、
すくすくそだっていった。

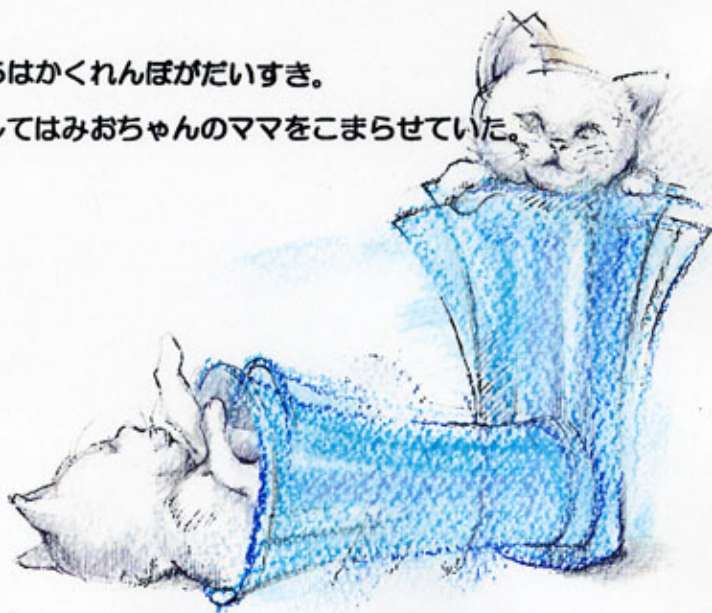




みおちゃんは5ひきのねこのうち、
しろねこのにゃんたろうととくになかよし。
にゃんたろうはみおちゃんのあとをいつもくっついていった。



こねこたちはかくれんぼがだいすき。
いたすらをしてはみおちゃんのママをこまらせていた。





あるひ、となりのななちゃんがひっこしをしていった。
さよならのあいさつをしていたとき、





にゃんたろうはふざけて、
トラックのにだいとびのって、
かくれんぼをしていた。



やがて、ななちゃんのかそくとにゃんたろうをのせたトラックは
とおいまちへとはしりだしていった。



みおちゃんにはんたろうがないのにきずき、
いっしょうけんめいにさがした。
いくらさがしてもはんたろうのすがたはみえない。
とうとうみおちゃんはなきだしてしまった。





にゃんたろうはしらないまちでひとりぼっちでころぼそかった。
まちはにゃんたろうにつめたく、
ほかのねこたちもいじわるだった。
にゃんたろうはみおちゃんのうちがこいしかった。





なんか見つかった。

みおちゃんのうちのうらににゃんたろうがいた。

みおちゃんとこねこたちはおおよろこび。

にゃんたろうにちかずくと・・・・

にゃんたろうのめつきはするとく、
げっしてみんなにちかすこうとしない。



みおちゃんにはゃんたろうのたびがたいへんだったのだと
おもいました。

それでもかえってきてくれた・・・・・・

それがとてもうれしかった。

